

単
元
名

ナンバーワンじどう車をえらぼう！

～「しごと」と「つくり」の関係を考えて、比べながら読もう～
「じどう車くらべ」「じどう車ずかんをつくろう」(光村図書)

計33人

本単元で育成する資質・能力

読解力、協働する力

1 本単元の指導目標とめざす児童の姿

【指導目標】 思C(1)ウ、思B(1)イ、知(2)ア

- ◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
- 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
- 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

【キーワード】

- ①重要な語や文を考えて選び出す。
- ②事柄の順序に沿って構成を考える。
- ③情報と情報との関係について理解する。

【単元終了後にめざす児童の具体的な姿】

- ①説明的な文章を読む際、「しごと」をキーワードにして読み取ることができる。
- ②自分の紹介したい自動車について、「仕事」を見つけて、それに合う「つくり」を選んで説明する文章を書くことができる。
- ③「仕事→つくり1→つくり2」で説明されているように、複数の事柄はきまりに基づいて順序よく書かれていることを理解している。

2 想定される児童のつまずきと手立て

- ・ 各自動車について、何が書いてあるかを見つけることはできるが、その車の仕事とつくりを結びつけて捉えることができにくい。
- 「大事な言葉や文を書き抜く」「自動車同士を比べて読む」「動作化」を手がかりにする。
- 友達との対話を通して、より具体的に仕事のためのつくりであることを捉えさせる。
- 「しごと」と「つくり」を分けて考えさせるために色分けなどを行い、2つの要素が各自動車の説明に含まれていることを確かめさせる。また、なぜそのような「つくり」になっているか、理由を問うことで、「そのために」という言葉が仕事とつくりの関係をつないでいることを捉えさせる。
- ・ 見つけたことをその順に書いてしまい、事柄の順序に沿って文章を書くことができにくい。
- 集めた事柄を「しごと」と「つくり」に分けて付箋に書き出し、構成を考えて書かせる。
- ・ 自分の経験から知っている車についての情報を羅列することはできるが、情報と情報を関係付けて説明する仕方が分からない。
- はじめに身近な車について説明する体験を取り入れ、ただ知っていることを並べるだけでは説明になっていないことに気付かせた後に教材文を音読させる。

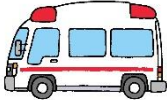
3 単元計画（全12時間）

次	時	学習内容や学習活動	学習する事柄	評価規準（評価方法）
0		- ブックトークにより、いろいろな自動車についての図書を紹介する。 - 車について、知っていることを出し合い、説明する体験をする。	自動車への興味	
一	1	- 単元の見通しをもつ。 ①スリーヒントクイズで教材文に登場する自動車について知る。 ②教材文「じどう車くらべ」を範読する。 ③題名や冒頭の課題文に着目し、何を比べるのか話し合う。 ④自動車図鑑をつくり、すごいと思うナンバーワン自動車を選ぶという学習のゴールを決め、計画を立てる。	- 説明の順序 - 課題のもち方 - 学習計画の立て方	【態】さまざまな自動車にはそれぞれ「しごと」と「つくり」があることに興味をもち、単元のゴールをイメージして意欲を高めている。（発言・ノートの感想）
二	2	- 教材文を読み、二つの問い（「どんなしごとか」「どんなつくりか」とそれに対する答えを確認する。 - 自動車, 「しごと」赤線, 「つくり」青線 - 音読練習 - 読みのめあてを作る。 「それぞれの自動車は、どんなしごとをしていて、そのためにどんなつくりになっているのか、くらべてよもう。」	- 文章構成（問い＋答え＋答え＋答え） 列挙型 - 事柄の順序（しごと→つくり） □で囲む, サイドラインを引く。	【知】「しごと」と「つくり」が説明されていることに気付いている。（ノート）
	3	「バス」と「乗用車」の仕事とつくりの関係を考える。 ①「バスや乗用車」の段落を音読する。 ②バスや乗用車の仕事について、挿絵や経験をもとに話し合う。 ③バスや乗用車のつくりについて話し合う。（視写、座席が広いや大きな窓のある理由）	- 情報と情報との関係（自動車のつくりは仕事をするための特徴） - 重要な語や文を選び出す。（「しごと」と「つくり」が「そのために」という言葉でつながっている。）	【思C】バスや乗用車の説明を読み、その「しごと」と「つくり」を捉えている。（ワークシート）
	4 本 時	「トラック」の仕事とつくりを捉え、「バスとの相違点・共通点を考える。 ①「トラック」の段落を音読する。 ②トラックの仕事について話し合う。 ③トラックのつくりについて話し合う。 ④バスとトラックの違いを話し合う。	情報と情報との関係（①つくりの理由 ②バスとトラックの比較）→ 「しごと」に合った「つくり」	【思C】トラックの説明を読み、その「しごと」と「つくり」を捉えている。（ワークシート）
	5	「クレーン車」の仕事とつくりについて、挿絵と文をつないで読み確かめる。 ①「クレーン車」の段落を音読する。 ②クレーン車の仕事について話し合う。 ③クレーン車のつくりについて話し合う。 ④トラックとクレーン車の違いを話し合う。	重要な語や文を選び出す。（動作化） トラック クレーン車はこぶ ⇄ つりあげる 「じょうぶなうで」 「しっかりしたあし」	【思C】クレーン車の説明を読み、その「しごと」と「つくり」を捉えている。（ワークシート） 【知】「しごと」に合った「つくり」が説明されていることに気付いている。（ワークシート）

三	6	どんな順番で自動車が登場しているかを話し合う。	事柄の順序（バスや乗用車→トラック→クレーン車）	【思C】事柄の順序について考える活動を通して、構成の意図を捉えている。（発言・ノート）
	7	- はしご車の「しごと」と「つくり」を考え、カードにまとめる。 ①はしご車の挿絵から、「火事」「高いところ」などのキーワードを押さえる。 ②はしご車の仕事について考え、説明する文を書く。 ③クレーン車の挿絵と比べ、はしご車のつくりについて具体的に考え、説明する文を書く。	情報と情報との関係（はしご車の「しごと」と「つくり」（クレーン車との比較）	【思C】はしご車の資料から、その「しごと」と「つくり」を捉えている。（ワークシート） 【態】説明における順序の重要性を知り、自分が説明するときに生かそうとしている。（発言・ワークシート）
	8	- 本などを使って紹介したい自動車の「しごと」について調べ、メモを作る。 - 調べたことをもとに紹介した自動車の「しごと」を文にまとめる。	内容の大体を捉える。	【知】「しごと」と「つくり」の関係を考えている。（ワークシート）
	9	- 本などを使って紹介したい自動車の「つくり」について調べ、メモを作る。 - 前時でまとめた「しごと」の文を読み直し、それに合わせた「つくり」を選ぶ。	事柄の順序	【思B】紹介したい自動車の「つくり」について情報を集め、「しごと」に合わせた「つくり」を選び、伝えたいことを明確にしている。（ワークシート）
	10	前時までの学習をもとに「じどう車ずかん」を作る。	事柄の順序	【思B】調べたことをもとに、「しごと」と「つくり」の順で「じどう車ずかん」を書いている。（ワークシート）
	11	自分の紹介したい自動車について、「ナンバーワン自動車」としてグループで紹介し合う。	情報と情報との関係	【思B】「ナンバーワン自動車」を紹介する。（発言・ワークシート）
	12	学習を振り返り、自分の文章のよいところを見つけて書く。		【態】「じどう車ずかん」について相手意識をもって分かりやすく伝えることができる。（発言）

4 言語活動の見本

(つくろ①)
きゆうきゆうたい
いんが、おうきゆう
しよちをするだけ
のひろさ



(しごと)
かんじゃをびよういんへ
はこぶ。

(つくろ②)
かんじゃをねか
せたまま車ない
にはこぶストレ
ッチャー



きゆうきゆう車
なまえ()

ぼく・わたしの ナンバーワンじどう車

きゆうきゆう車は、かんじゃをびよういんへはこぶしごとをしています。そのために、うんてんせきのうしろにきゆうきゆうたいいんがおうきゆうしよちをするだけのひろさがあります。かんじゃをねかせたままはこぶストレッチャーがついています。

5 本時の学習（4/12時）

（1）本時の目標

○バスや乗用車との共通点や相違点を話し合うことで、重要な語を考えて選ぶことができる。
【思C（1）ウ】

（2）学習展開

	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
0	1 めあてを確認する。 ○前時に学習したバスについて想起させ、本時の課題を確認する。	・ 本時のめあてを意識させ、バスや乗用車との共通点や相違点を考えながら読ませる。	
	トラックの「しごと」「つくり」を見つけよう。		
5	2 学習の見通しをもつ。 ○トラックの「しごと」を確かめる。 ①トラックの「しごと」の文を見つけ、視写する。 ②視写した文と挿絵をつなげる。(ペア) ③「バス」の仕事と比べる。(全体) ※挿絵、言葉、動作化を手がかりに読む。 ・「はこぶ」は同じ ・「荷物」と「人」はちがう	・ 挿絵に着目させ、生活経験とつないで、運ぶものを想像させる。 ・ バスと比べ、同じ「運ぶ」仕事をしていることと、運んでいるものが違うことを押さえる。 ・ 深読みのコツは板書して明示する。 しごとのことばを見つける。 おなじところやちがうところをくらべる。	
15	3 理解を確認する。 ○トラックの「つくり」を読み取る。 ①トラックの「つくり」の文と挿絵をつなげる。(ペア) ②トラックと「バス」のつくりを比べる。(全体) 運ぶという仕事をしているのは同じなのに、どうしてつくりがこんなに違うのでしょうか。 ・ 仕事によって、違うつくりになっている。 ・ それぞれ仕事に合ったつくりになっている。	・ 挿絵を手がかりに友達との対話をしながら、「つくり」の文を見つけさせる。 ・ バスとの共通点や相違点を比べることにより、仕事とつくりの関係性について考えさせ、「そのために」という言葉で仕事とつくりがつながっていることを確かめさせる。	
25	4 理解を深める。 ○トラックになりきって発表する。 ・ 私はトラックです。トラックは荷物を運ぶ車です。そのために広い荷台があります。どうですか。 ・ ぼくは、トラックです。トラックは、荷物を運ぶ仕事をしています。そのためにタイヤがたくさんついてます。 ③トラックの「つくり」の重要な語句を書き入れる。	・ 理由を問うことにより、トラックには「広い荷台」「たくさんのタイヤ」が必要であることを確かめる。 ・ トラックとバスの仕事について振り返らせ、それぞれの仕事に合ったつくりになっていることを確かめる。	・ トラックの説明を読み、その「しごと」と「つくり」を捉えている。(ワークシート)
40	5 本時の学習をまとめる。 ○本時の課題について振り返る。 ・ 「しごと」に合った「つくり」なら、「そのために」ということばでつなげればよい。 ・ クレーン車も仕事に合ったつくりになっているかな。		

板書計画

